

普通科高校生へ農林水産省の主要施策等を説明

県拠点が一体となって県内の普通科高校生に施策説明及び県拠点業務を紹介。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略、統計、食品表示、食料自給率、災害、農政の方向性

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和5年6月に普通科高校である島根県立松江南高等学校（島根県松江市）では、1年生が市内の企業・団体の訪問する「SDGsと科学技術フィールドワーク」を計画。訪問先の企業・団体として、当拠点到に依頼があった。

当拠点では、これまで農業高校等を中心に施策説明を行ってきたが、今後は普通科高校への展開も考えていたことから、拠点全体で取り組むこととした。

○ 取組の内容

まず、地方参事官室から、農林水産の組織、食料・農業をめぐる課題、みどりの食料システム戦略について説明を行った後、災害用備蓄品の展示やBUZZMAFFの紹介を行った。

次に、統計チームから水稲収穫量調査に係る脱穀作業体験、消費・安全チームから食品表示の見方の説明をした。

○ 効果・成果、今後の方向性

これまで、大学、農林大学校及び農業高校に対して施策説明を実施してきたが、農業に関心を持つ関係人口を増やし、新たな担い手を創出する必要があることから、今後は、普通科高校等に対しても積極的にアプローチしていきたい。



守屋地方参事官による講義



脱穀作業体験

体制図

